

新型コロナウイルス感染症に伴う誹謗中傷のない社会、健やかな暮らしと活気のある地域経済の実現に向け、家庭、職場・学校、地域が一丸となって取り組んでいくため、令和2年9月25日に「新型コロナウイルスに伴う誹謗中傷等からみんなを守る共同宣言」を行いました。

長野県PTA連合会から、熊谷 弘会長が参加し、下記のメッセージを全県に向けて発信いたしました。

「愛する故郷信州の、お父さん、お母さんをはじめとする保護者の皆さんにお願いがございます。感染した子どもたち、また医療従事者の子どもたちに対して、誹謗中傷を失くすため、まず私たち保護者が噂したり、その噂話を拡散したりしないように、正しい「人権感覚」をもとうではありませんか。それがわが子どもたちの幸せであり、信州全体の子どもたちの幸せにつながります。子どもたちは常に私たちの話を聞いております。

**「ストップ噂話の拡散！」** まずは私たちから！！

私たち長野県PTA連合会では、新型コロナウイルス感染症に関して、感染予防の徹底と子どもたちの学びの機会と人権を守るために日々活動しております。

今回の共同宣言を幅広く周知徹底していくと同時に、新型コロナウイルス

などの感染症に関して正しい知識をもち、人権問題に関しても学びを深めていくことができるように保護者と先生方と協力しあって取り組んで参りたいと思います。」

また、長野県PTA連合会では、次の点を大切に取り組んで参りたいと思います。

○県PTA新聞等を通じて、共同宣言含めて誹謗中傷等の防止を周知徹底していきます。

○県PTAのHP・SNSを通じて、共同宣言含めて誹謗中傷等の防止を周知徹底していきます。

○県PTAで主催する研修会等を通じて、新型コロナウイルス感染症等による人権問題に関して学びを深めます。

○共同宣言含めて、誹謗中傷等の防止を各郡市PTAと協力を図りながら推進します。

○長野県教育委員会、関係諸団体と連携を図り、共同宣言の実現に向けて行動します。

○保護者として新型コロナウイルス等の感染症の正しい知識を学び、人権感覚を身につけるよう努力します。

